PRESS RELEASE



台湾デジタル大臣オードリー・タン氏の登壇が決定

約40本のオンラインセッションが参加無料に

NoMaps実行委員会(委員長:伊藤博之)では、2020年10月14日 (水)~18日(日)の5日間にわたり開催される「NoMaps2020」に向けて準備を進めています。

NoMapsの特徴の1つである、ビジネスや先端技術、クリエイティブのトップランナーが登壇し意見交換を行うトークセッション「NoMaps ビジネスカンファレンス」。そのオープニングセッションに、**台湾のデジタル大臣 オードリー・タン氏**を迎えることが決定しました。

市民生活とテクノロジーのこれからを考える

デジタル技術を駆使したCOVID-19対策「マスクマップ」などで世界の注目を集めた台湾のオードリー・タン デジタル大臣。その活動の礎には、テクノロジーをいかに市民の生活に優しく取り入れていくのか、『シビックテック(市民によるテクノロジーを活用した能動的な課題解決)』の思想、インターネットへのリテラシー教育が深く関わっています。



台湾デジタル大臣 オードリー・タン氏

トークセッションでは、オードリー・タン氏に加え、地域課題を積極的に解決しようとシビックテックを実践する Code for Sapporo代表の古川 泰人氏、北海道石狩市のデータセンターをはじめ大規模な設備を活用しクラウドな どのインターネットインフラサービスを提供するさくらインターネット株式会社 代表取締役社長 田中 邦裕氏と、これからの市民と技術が寄り添うソーシャルイノベーションについて伺っていきます。(登壇者プロフィールは別紙を ご覧ください)。

なお、このセッションは事前に収録し、字幕・編集を入れた状態で、10月14日(水)13:00よりYouTubeから配信します。配信後は台湾のポリシー(Radical Transparency)に基づき台湾政府のウェブサイトでも全編無料公開されます。

約40本のトークセッションのオンライン配信を誰でも無料視聴できます

新型コロナウィルス感染症の拡大という大きな困難 に直面している現在、私たちが次の社会・未来をつく るために乗り越えなければいけない課題を出来るだけ 多くの人と共有する必要があります。

そのため、例年有料で開催してきた「NoMapsビジネスカンファレンス」を**今年は無料で公開**します。

また、<mark>リアルタイムでの視聴が難しい、または繰り</mark> 返し視聴したいという要望には、有料(1,000円/ Peatixにて申込)で一部をのぞき11月末までいつで も視聴が可能です。詳細はWEBサイト(https://nomaps.jp)をご覧ください。

このリリースについてのお問い合わせ

NoMaps実行委員会 事務局 広報担当 山岸 奈津子

Tel: 090-6995-8835

Mail: natsuko@no-maps,jp







PRESS RELEASE

オードリー・タン氏登壇セッション詳細「市民生活とテクノロジーの調和(仮)」

登壇者プロフィール



オードリー・タン|台湾デジタル大臣

ソーシャルイノベーションを担当する台湾デジタル大臣。

プログラミング言語であるPerlとHaskellを人気再燃させたことや、ダン・ブルックリン氏と 共同でオンライン表計算システムEtherCalcを開発したことでも知られている。

台湾の行政府など(パブリックセクター)では、台湾国家発展評議会のオープンデータ委員会とK-12カリキュラム委員会の委員を務め、台湾初のe-Rulemakingプロジェクトを主導。また、民間企業など(プライベートセクター)では、Apple社の計算言語学顧問、オックスフォード大学出版局ではクラウド型辞典編纂学顧問、Socialtext社ではソーシャルインタラクションデザイン顧問を務めた。

ソーシャルセクターにおいては、「政府をフォークする」という呼びかけのもと、市民参加型の社会を目指し様々なツールを作成するコミュニティ「gOv(ガブゼロ)」の活動に積極的に貢献した。



田中 邦裕|さくらインターネット株式会社 代表取締役社長

1996年に国立舞鶴工業高等専門学校在学中に18歳で学生起業し、2005年に東証マザーズ上場、2015年に東証一部上場。

ーヶ月の休暇を取ったり、那覇に居を構えてリモートワークをしたり、社外取締役等のパラレルキャリアを拡大するなど、自らも新しい働き方を実践している。

起業経験やエンジニアというバックグラウンドを生かし、スタートアップ企業のメンターや、IPA未踏PMとして学生エンジニアの指導等にもあたる。

2011年、北海道石狩市に「石狩データセンター」を開設。



古川 泰人 | Code for Sapporo / Code for Japan

地図情報技術者。民間企業を経て北海道大学CoSTEPで科学技術コミュニケーションなどを 学んだのち、北海道大学などの研究員として勤務。その後2016年に位置情報のコンサルティ ングやシステム開発を行うMIERUNEを創業。また、Code for Sapporoのコアメンバーとし て、「さっぽろ保育園マップ」や「ひぐまっぷ」などのコーディネートに関わり、Code for Japanでもシビックテックやオープンデータに関する活動を行っている。最近ではJUST道IT グループの一員として「北海道新型コロナウイルスまとめサイト」の開発・運用に携わってい る。このほかにも2019年から総務省地域情報化アドバイザーを拝命し、オープンデータ、シ ビックテック、オープンサイエンスなどに関する講演や研修などを行ってきた。

<NoMapsについて>

NoMapsは、クリエイティブな発想や技術で次の社会・未来をつくることを目指し、2017年から札幌・北海道を舞台に、アイデアや価値観をシェアするビジネスカンファレンス、未来を体感する展示や実証実験、出会いの場の提供、最先端の音楽や映画などに触れるイベントなどを開催しています。

コロナ禍である本年は、オンラインを活用した開催を主軸としながら、どのようにすればこの「新しい生活様式」に対応できるイベントが開催できるのかを考えながら、新たなリアルな場づくりに挑戦していきます。

